

ものづくりを支える機械・技術特集 の発刊に際して

代表取締役副社長執行役員 青木 素直
技術本部長 Sunao Aoki



ものづくりを支える機械・技術特集の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

1884年の創立以来、当社は長きにわたってお客様や社会とともに歩み、時代に先駆けた新しい“ものづくり”に挑戦することで、世界の人々の暮らしを支える様々な製品を提供し続け、社会の発展に貢献してまいりました。

さて、世界経済が同時不況に陥る中、我が国経済も極めて厳しい状況に直面しております。このような状況の中、我が国の発展を維持していくためには、生活水準の向上につながる価値創造を可能にする技術革新と、世界が求める製品とサービスの創出が必要であり、その国際競争力を高める品質とコストを支える製造業の発展が不可欠です。当社はものづくり企業として技術と情熱で確かな未来を提供していきます。

本号は“ものづくりを支える機械・技術”と題する特集とし、産業基盤分野における近年の成果の一端として14件を取り上げました。これらは、いずれも当社の中で鍛え抜かれた技術であり、お客様の事業発展のお役に立てるものと考えています。

ものづくりを支える機械の代表の一つであります工作機械では、クラス最高の高能率加工を可能とするフロアタイプ横中ぐりフライス盤、遊星歯車装置の低騒音化、低振動化ニーズに対応する世界初の量産用内歯車研削盤を、印刷関連では、ワンボタンオペレーションを実現した新型商業オフセット輪転機などを紹介いたします。

汎用機関連では、デジタルエンジニアリングの活用によるクリーンディーゼルエンジン開発効率化、環境負荷低減に加え安全性や作業性を向上した大型フォークリフトを紹介いたします。

そのほかにも、先端研究・技術開発を支える粒子加速器製品とその応用製品である医療装置、シミュレータ酔いを低減したドライビングシミュレータ、熱間薄板圧延を切れ目なく行うためのバー接合装置、高生産性と環境負荷低減を両立する2プラタン大型電動射出成形機などについても紹介いたします。

日本の、世界のものづくりを支える当社の機械と技術は、総合機械メーカーならではの総合力を結集した機械と技術であります。今後とも使いやすさ・精度はもちろん生産性・信頼性など数々のお客様のニーズにマッチした幅広い製品を揃えてまいりたいと存じます。

これからも私どもの活動に対しご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。